

Vigor

三田西陵高等学校 26 回生 第 2 学年 発行
No. 24 令和 2 年 2 月 5 日

修学旅行を終えて

3 泊 4 日の修学旅行を終えました。初めての飛行機やスキーなど、みなさんにとって忘れられない思い出になったのではないのでしょうか。今回は修学旅行の感想を紹介します。



まず、全体を振り返って本当に何も大きなトラブルなく、1つの不満ややり残したことなく、修学旅行を終えることが出来て自分でも驚いています。そして、計画してくれた先生や準備を手伝ってくれて無事に行かせてくれた家族、旅行会社やバスガイドさんやスキーのインストラクターさん等々、考えても出し尽くせないくらい、修学旅行を成功に導いてくれた人たちに感謝したいです。



初めての北海道は見るものすべて新鮮なものばかりで建物の中にいない限り雪が積もっていて、それでも例年よりは少ない積雪というのに驚きです。初日と2日目は暖かく天気も良くて過ごしやすかったですが、



3日目、4日目は本当に寒かったです。それでもガイドさんが言うにはまだまだだそうですが…。一番印象に残ったのはグレンデの雪で、さらさらと乾燥したような粉雪はとても滑りやすく衝撃を受けました。正直言って、なんで北海道に行ってまでスキーをするんだ

と体験する瞬間まで思っていたんですが、北海道はグレンデのコースが長くて、粉雪で景色がよくて最高でした。今ではまたやりたいと望んでいます。次に印象的だったのは食べ物で、初日のラム肉の BBQ やホテルのブッフェ、小樽で食べた海鮮丼やメロン、どれも美味しいものばかりでした。

北海道から帰ってきたときに、有馬先生に言われた通り家族に感謝を伝えるのは恥ずかしくて出来なかったのですが、楽しかったお土産話をたくさんしました。本当に楽しい修学旅行でした。4日間あつという間でした。次は家族とまた行きたいです。関わったすべての人に感謝です。(1組)



修学旅行を振り返って一言で表すなら、長いようで短い時間でした。修学旅行で北海道。なんで寒い時期に日本で一番寒いところに行ってスキーせなあかんの？って思っていたけど、初心者でも一日目からリフトで上に行って滑れるようになったし、北海道の雪はサラサラで粉雪やし、寒いって言ってもあんまり三田と変わらんし、(寒すぎたのは小樽だけで) 想像していたのとは全然違って、想像していた何倍も何十倍も楽しむことができました。



海鮮丼を食べる夢もかなったし、三泊四日の間友だちと過ごすことで、普段の学校生活では絶対見れない、知らんままやったかもしれない意外な一面まで見る事ができた！そのおかげで友だちとの距離がだいぶ縮まったと思います。

移動の時「すぐ着きます。」と言われても全然着かなくて、北海道の移動は最低でも一時間以上かかると知

って、三田の移動時間を短く感じられるようになりました。ジンギスカンを食べるのは初めてで、これは少し苦手になって思いました。

やっぱりスキーが一番楽しかったです！インストラクターの方も親切で、起き上がるのを手伝ってもらえるし、面白いし、飴ちゃんもくれるし。実習中はスピードを制御できなくて暴走しちゃう人とかいて、巻き込み事故多発したけど、全部がいい思い出になりました。人生最後の修学旅行がこのメンバーで、行き先が北海道で、周りの方が親切で、たくさんのいい思い出ができてホントウに良かったです！☺ (2組)



本当に一瞬の3泊4日でした。私にとって、北海道や飛行機、スキーなど初めてのことばかりで、すこし大変でしたが、それ以上に楽しい思い出ができました。

1日目のカーリングでは、テレビでしか見たことのないスポーツで、体験したときには石がとても重かったことや、とても難しいスポーツだとわかり、とてもいい経験になりました。



2日目からはスキー実習があり、スキーを一度もしたことがなかったので、板を付けたときは立つことすらできなかったけど、次の日には恐怖心もなくなり、一度もこけることなく滑ることができました。

最終日の小樽では、ずっと食べたかった海鮮丼が食べられてよかったです。もう少し時間があれば、もっといろいろなところに行けたのになと後悔はありますが、楽しい修学旅行ができました。



本当に楽しいことばかりで一瞬でしたが、思い出はたくさんできました。(3組)





ジンギスカンの後にしゃぶしゃぶはつらいです。胃もたれを起こしました(笑)。美味だったので良かったです…。

あまり楽しみにはしていなかったものの、友達と丸一日一緒に居られる機会があって、楽しい思い出ができました。次はプライベートでゆっくり観光したいです。(4組)

修学旅行の4日間は人生で体験したことのないことがたくさん詰まっていました。まず、初めて食べたジンギスカンは、表現しにくい味でした。でも野菜と一緒に食べるととてもおいしかったです。

次に、初めてのカーリングではバランスがとれなさすぎて驚きました。左足だけが滑るようになっているのに盛大にこけました。今でも青たんが残っています。勝手に名付けていたインストラクターの「北海太朗さん」は優しくて、イケメンで終わってからも皆夢中でした。また機会があればしたいです。

次に、スキーです。動画で観たり、滑れる友だちの話を聞いていると簡単そうでしたが、1日目の基礎練習から苦戦しました。緩い斜面でも止まることが難しく、板の付け外しさえ苦労しました。10m滑る練習では、「上手」と褒められ、滑れそうと思いましたが、距離が長くなり急な斜面になったとたん、怖くて何度もこけてしまいました。2日目になるともっと急になったので、10回以上はこけました。お尻がついたままなので止まれずに怖かったです。でもチームの子とインストラクター



の中村さんが優しく教えてくれて、最後にはこけずに滑れて良かったです。

夜のレクリエーションでは上手なダンスや歌、面白いネタを見



せてもらえて本当に楽しかったです。25日には私の誕生日で「移動日で嫌やな」と思っていたんですが、全然しゃべったことのない人たちからも祝ってもらえて、本当に幸せでした。良い誕生日でした。今までの修学旅行や行事の中で一番楽しく思い出の深いものとなりました。こんな思いをさせてもらえて両親にも先生にもJTBの方にもたくさんの人に感謝したいです。本当にいい4日間でした。(5組)

3泊4日の修学旅行もあっという間に終わりました。1日1日が濃くて素敵な思い出しかありません。修学旅行に行く前は班決めに時間がかかったり、風邪がはやりたりして不安でしたが、楽しい以上の楽しいで今も余韻にヒタヒタです。

初めての飛行機、初めてのジンギスカン、初めてのスキー、初めての北海道、初めてだらけの修学旅行でした。今も余韻が凄い修学旅行になったのは、何よりも周りの友達のおかげです。いつも一緒にいるメンバーは安定に楽しかったし、クラスの子とも、他のクラスの子とも、写真を撮る度にたくさん話をして仲良し度がUPしました。そしてレクリエーションの時には2年生全体が仲良くなったと思います。



また、いつも点呼をとってくれた委員長の三好さんと副委員長の熊懐くんの2人に、そして忙しいのにドッキリに2回もひっかかってくれた担任の岡先生に、そしてお金を出してくれた親に感謝です。次は夏に沖縄へ修学旅行に行きたいくらい楽しかったです。このメンバーでの行事が少しずつ最後になっていくのが寂しいです。修学旅行を通して改めて本当に西陵でよかった、子みらいでよかった、担任が岡先生でよかったと思いました。(6組)



みなさんの感想文の中に『感謝』という言葉が多く見られました。この修学旅行を通して、改めて『感謝』の気持ちを大切にすることができたのではないのでしょうか。また、私がこの修学旅行で特に印象的だったのは、ホテルの売店や新千歳空港で両手いっぱいにお土産袋を抱えたみなさんの姿です。たくさんの人を思いながら、お土産を選んだのではないのでしょうか。これからは「ありがとう」という気持ちを大切に過ごしてほしいなと思います。大きな怪我なく、無事に三田まで帰ってくることができ、本当によかったです。

修学旅行が終わり、学校では風邪や体調不良が気になります。しっかり休養をとり、元気で過ごせるよう体調管理には気を付けて下さいね。(小林)

